

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日3月4日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、3月11日（火曜日）からです。

[👉バックナンバーはこちら](#)

『アジアの里山食生活図鑑』

養父 志乃夫／著、柏書房／刊、請求記号：383.8 /Y,12

内容：インドネシア・マレーシア・フィリピン・ベトナム・中国・韓国といった、アジア各地の伝統的な「食」の営みを写真とともに紹介。主食・副食等の食糧生産を中心に、家畜飼育、肥料生産など、広く暮らしの循環について解説する。

著者紹介：1957年大阪生まれ。大阪府立大学大学院博士課程修了。和歌山大学大学院システム工学研究科教授。専門は造園学、自然生態環境工学、環境民族学。著書に「里山・里海暮らし図鑑」など。

『すばらしき特殊特許の世界』

稲森 謙太郎／著、太田出版／刊、請求記号：507.2 /I,53

内容：松本人志が発明した脅威の目覚まし時計、富士フィルムの暴漢撃退カメラなど、ユニークな題材を、取材や調査を通じてドラマチックに描く。特許の取り方から最先端のスマートフォン特許まで、笑えて学べる特許入門書。

著者紹介：1970年東京都生まれ。横浜国立大学大学院工学研究科博士前期課程修了(工学修士)。科学技術ジャーナリスト、弁理士、米国公認会計士。著書に「女子大生マイの特許ファイル」など。

『オリンピックの光と影』

結城 和香子／著、中央公論新社／刊、請求記号：780.6 /Y,97

内容：五輪運動の価値観とスポーツ政治の思惑のはざままで、何が東京に勝利をもたらしたのか？ IOC取材20年のベテラン記者が招致の舞台裏を克明に描き、オリンピックの魔法と深淵を読み解く。

著者紹介：1962年東京生まれ。東京大学文学部英語英米文学科卒。読売新聞編集委員。国際オリンピック委員会(IOC)の取材を担当し、現地特派員として五輪を取材。著書に「オリンピック物語」等。

『日本の歳時記』

宇多 喜代子 ほか／著、小学館／刊、請求記号：911.3 /N,77

内容：春の季語を、時候・天文・地理・植物・動物・生活・行事に分けて、平易にわかりやすく解説。関連する季語との違い、句作での留意点などにも触れる。鑑賞文つきの例句、名句鑑賞、俳人紹介、カラーの写真・図版も掲載。

『人生複線の思想』

外山 滋比古／著、みすず書房／刊、請求記号：914.6/ To,79

内容：人生一直線、いさぎよいがこれでは危険が多すぎる。人生がマラソンならば、大切なのは後半、復路である。復路の世界はほとんど新世界である-。高齢化社会の課題を考察した文化=人生論集。

著者紹介：1923年愛知県生まれ。東京文理科大学特別研究生修了。お茶の水女子大学名誉教授。文学博士。著書に「忘却の力」など。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp